

株式会社 オニザキ

ゴム製品・照明器具で 最適ソリューションを提供

納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
試作可
小ロット
量産
対応



トムソン加工機などで部品製作・組立・検品に対応

主な事業内容

打ち抜きなどのゴム・樹脂製品加工、
照明器具のワンストップ製造

主な取引先(納入先)

照明器具メーカー、
ホビーメーカー

主な製品

パッキン、絶縁シート、照明器具

業務 内容

ゴム・樹脂製品加工と 照明器具製造の二本柱

オニザキは、パッキンや絶縁シートなどのゴム・樹脂製品加工と、照明器具の製造を事業の二本柱とするものづくり企業である。二つの事業は、まったく関連がないように見えるが、照明器具にはゴム・樹脂製部品が多く使われているという接点がある。

同社の創業は平成25年。比較的新しい企業であり、鬼寄悟社長が創業者だ。ゴム製品加工会社に勤めていた鬼寄氏が、独立するかたちで同社を立ち上げた。スポンジゴムへのカッティングプロッタを用いた「ルーター加工」の技術を有しており、得意先、協力工場や従業員も鬼寄社長自身の人脈で確保している。

強み 顧客の要望に 加工方法を使い分けて

鬼寄社長によると、同社の強みは「トータルでものづくりに関わっていること」。照明器具は設計からゴムなどの部品製作・組立・検品に至るまで、一貫して請け負うことができる。「協力工場が40〜50社ほどあるため、自社で製作しているゴム製品以外の部品も

スムーズに調達でき、顧客の要望に応えられる」という。

また、ゴム製品の加工では、自動打ち抜き切断機(トムソン)を使った加工も、カッティングプロッタマシンを使った加工も可能。前者は多量加工、後者は多品種少量加工に向いているため、顧客の要望に応じて両者を使い分けられるという強さがある。

新規 需要 自社ブランド 製品作りにも意欲

QCD改善も進み、ゴム製品加工の受注は年々増加。「当初は照明器具部門の方が売上が多かったが、現在は照明器具部門とゴム製品部門の売上比率が3対7程度になっている」と鬼寄社長は話す。スリングライフル(ホビー)用ゴム部品の加工など、照明器具部品以外の新たな需要も出てきた。

工場が手狭になったため、令和元年に第二工場を開設。照明器具部門をこちらに移した。ただ、「従業員にはゴム製品加工も照明器具製造もできるよう教育をしている」と鬼寄社長は言う。従業員の9割ほどが30代という若い企業の同社。自社ブランド製品作りにも近々乗り出す計画である。

社長あいさつ



代表取締役社長
鬼寄 悟さん

当社は照明器具の製造では設計から部品製作・組立・検品までを一貫して請け負っており、お客様に最適なソリューションを提案させていただきます。ゴム製品の製造でも、カッティングプロッタと自動高速打ち抜き切断機を使用し、お客様に最適な加工方法をご提案しています。

主な保有設備

- 自動高速打ち抜き切断機(トムソン) MP-600SL 曙機械工業製 1台
- 自動高速打ち抜き切断機(トムソン) MP-500L 曙機械工業製 1台
- カッティングプロッタマシン AS2013F 阿・咩堂製 1台
- 定温乾燥器 DS601 ヤマト科学製 1台
- 画像寸法測定器 IM-7000 キーエンス製 1台

大阪
04 ISO 9001

住 所／〒571-0015
門真市
三ツ島4-23-8
T E L／072-865-5187
F A X／072-865-5189
創 業／平成25年7月
設 立／平成25年7月
資本金／100万円
従業員／20名



照明器具のバリエーションも幅広い



多様なゴム製品の加工を手がける



<https://onizaki-lr.co.jp/>